

2023.12.8 常任理事会

2024 年度 ナショナルチーム強化計画

公益財団法人 全日本空手道連盟 選手強化委員会

— 目 次 —

・全日本空手道連盟基本理念	P 1
・ナショナルチーム基本方針	P 2
・ナショナルチーム強化方針	P 4
・選手強化委員の構成と任務	P 5
・2024年ナショナルチーム選手選考（国内・国外）	P 6
・2024年強化選手選考に係る免除選手の取り扱い	P 7
・2024年ナショナルチーム	P 8
・2024年国際大会派遣選手の取り扱い	P 9
・2024年選手強化合宿（国内）実施の取り扱い	P 1 0
・2024年ナショナルチーム各種研修会開催予定について	P 1 1
別添資料① 2024年ナショナルチーム編成数	P 1 2
別添資料② ナショナルチーム選手強化に係る全体評価表（様式）	P 1 3

公益財団法人全日本空手道連盟基本理念

1. 空手道を通して、感動、喜び、成長を体現する
2. 空手道の健全な発展と普及を追求し、生涯空手を目指す
3. もって、国民の心身の錬成に寄与する

ナショナルチーム基本方針

1. 指導者心得

- (1) 強固な日本チームを育成するため選手との一体感（連帯意識）を高める
- (2) 一貫した指導体制を構築するためのコーチ会議および講習会等への参加を積極的に行い自身のスキルアップを目指す
- (3) 常に公平・公正であることを第一義とし、信頼される組織を構築する姿勢を貫く
- (4) 情報戦略を強化し、世界先端のレベルを維持する強化体制を目指す
- (5) 医科学支援体制の充実を図り、選手がベストコンディションで活動できる環境を目指す
- (6) 「必ず結果を出す」との強い信念を持ち、選手と共に成長する指導体制を推進する

2. トップアスリート心得

- (1) 礼節（言葉遣い・態度・挨拶）を重んじること
- (2) 道徳心（倫理・正義）を重んじること
- (3) 高い志を持ち続け成長すること
- (4) 志を達成するため情熱ある行動に努めること
- (5) 必ずできると信じて最後まで諦めない精神力を培うこと
- (6) 前向きな姿勢（プラス思考）がチーム全体の力となるように努めること
- (7) 人を思いやる優しさ、素直さを持つように努めること
- (8) 創意工夫の大切さを理解し、思考力・人間力を高めること

ナショナルチーム強化方針

日本代表選手は「強い空手」を目指す

「強い空手」を実現するために、豊富な練習とフィジカル強化の徹底を図り自信を身に付ける

<組手>

- (1) 必ず勝という強い信念の下、得意とする技を自信を持って戦う姿勢を貫く。
- (3) 先の先の組手を心掛け、先取することを基本として積極的な試合展開をする。
- (4) 直線的攻撃力を最大限に強化し、かつ柔軟な対応力を磨く。
- (5) 日本人特有の正確な技、我慢強さを最大の武器として戦う。
- (6) 空手母国日本代表選手として誇りを持ち最後の最後まで「正々堂々」と戦う。

<形>

- (1) 日本の強さ：伝統的な無駄のない動き、技術とフィジカルの融合
- (2) 立ち方の強さ：強さは土台から、強靱な下半身と体幹、上肢との一致
- (3) 日本代表としての自覚と覚悟を持つ：コントロール（感情の調整の仕方を知る）と一貫性（どんな状況でも自分を出せる）
- (4) 形（技）の理解度：空手の歴史、文化を学び、形（技）の意味を理解し演武に繋げる。
- (5) 上記（1）から（4）を強化し、全種目優勝を達成し世界の模範となる

選手強化委員会の構成と任務（27名）

強 化 委 員 長	谷崎金光
強 化 副 委 員 長	佐藤映里（シニア組手兼務）
全 日 本 監 督	松元和昭
フ ィ ジ カ ル 強 化 担 当	椎名志津男
分 析 ・ 戦 略 担 当	亀山歩、大徳紘也
シ ニ ア 組 手 コ ー チ	崎山幸一、稲田保久、亀山歩、松久功、玉井祐美、新井彩可
ジ ュ ニ ア 監 督	細矢真人
ジ ュ ニ ア 組 手 コ ー チ	志水亮介（シニア組手兼務）、永木伸児（シニア組手兼務）、荒賀知子、小林実希
シ ニ ア ・ ジ ュ ニ ア 形 コ ー チ	古川哲也、土屋秀人、雨宮さゆり、大木格（Jr）、清水由佳（Jr）
医 科 学 担 当	鈴木浩司、安東映美、工藤裕仁、古川茜、大徳紘也
学 識 経 験 者	村田利衛
事 務 局	小池康子（事務長）、新井彩可（事務次長）、大徳紘也（事務次長）

※P・D・C・A（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）の重要性。

※大会・合宿実施後、担当コーチ等からの意見を踏まえ（評価）次回に繋ぐ（別添資料②参照）。

2024 年ナショナルチーム選手選考（国内・海外）

選考区分	会場	期日	選考人数	選考委員
国内強化選手選考会（シニア）	全空連会館	2024. 2. 9～11	60 人以内※別添資料①	委員長、副委員長、監督 選考委員 4 名以内 ※立会人 連盟役員 2 名同席
国内強化選手選考会（ジュニア）	全空連会館	2024. 4. 26～28	50 人以内※別添資料①	
世界選手権大会代表選手選考	—	通年	—	
アジア選手権大会代表選手選考	—	通年	—	
プレミアリーグ大会（略称 PL）	—	—	—	選手強化委員会
シリーズ A 大会（略称 SA）	—	—	—	選手強化委員会

- ・ 組手及び形の選手選考は、「強化方針（P4 参照）」に沿って選出する。
- ・ 強化選手選考（シニア・ジュニア）は選考会後、選考委員による選考会議で決定する（発表は後日とする）。
- ・ 公式戦（世界選手権大会及びアジア選手権大会）の選手選考は、国際大会（PL・SA 等）、WKF スタンディング及び合宿等を参考に選考委員による選考会議で決定する。
- ・ U21 の選考は、シニア選考会で選考する。

2024 年強化選手選考に係る免除選手の取り扱い

区分	免除対象者	摘要
シニア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年第 26 回世界選手権大会メダリスト ・ 2023 年 19 回アジアシニア選手権大会メダリスト ・ 2023 年 19 回杭州アジア競技会メダリスト ・ プレミアリーグ 2023 大会優勝者 ・ 2023 年第 51 回全日本選手権優勝者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人組手、個人形、団体組手、団体形 ・ 個人組手、個人形、団体組手、団体形 ・ 個人組手、個人形、団体形 ・ 個人組手、個人形
ジュニア	なし	

2024 年ナショナルチーム

シニアナショナルチーム (シニア・U21) 60 名以内

※2024. 10. 9 (世界ジュニア初日) 時点で 18 歳以上の者

- ・ 2023 年第 26 回世界選手権大会メダリスト (個人組手、個人形、団体組手、団体形)
- ・ 2023 年第 19 回アジアシニア選手権大会メダリスト (個人組手、個人形、団体組手、団体形)
- ・ 2023 年第 19 回杭州アジア競技会メダリスト (個人組手、個人形、団体形)
- ・ プレミアリーグ 2023 大会優勝者
- ・ 2023 年第 51 回全日本選手権優勝者 (個人組手、個人形)
- ・ 2024 年シニア選考会通過者

ジュニアナショナルチーム (ジュニア・カデット) 50 名以内

※2024. 10. 9 (世界ジュニア初日) 時点で 14 歳～17 歳以下の者

- ・ 2024 年ジュニア選考会通過者

2024 年国際大会派遣選手の取り扱い

大会名	摘 要
シリーズ A	<ul style="list-style-type: none">・次世代選手（2024 年・2026 年団体・2025 年個人世界大会メダル獲得を目指す）の育成強化を目的とする。・強化委員会が選考して決定する。選手の経費は、連盟が全額負担する。・自由参加者は全額自己負担とする。
プレミアリーグ	<ul style="list-style-type: none">・世界トップレベルに到達することを目的とする。・強化委員会が選考して決定する。選手の経費は、連盟が全額負担する。・自由参加者は全額自己負担とする。
アジア選手権	<ul style="list-style-type: none">・国際大会（PL・SA 等）、WKF スタンディング及び合宿等を参考に選考委員による選考会議で決定する。
世界選手権	<ul style="list-style-type: none">・国際大会（PL・SA 等）、WKF スタンディング及び合宿等を参考に選考委員による選考会議で決定する。

2024 年選手強化合宿の取り扱い

区 分	会 場	期 間	練習テーマと強化策
シニア	全空連会館 全空連会館 全空連会館 全空連会館 全空連会館	4月12～14日 6月14～16日 7月13～15日 8月30～9月2日 10月24～27日	(1) 技の正確さ (2) 先取するための積極性 (3) 技の連続性 (4) 最後まで逃げず戦う姿勢 (5) フィジカル強化 ※次回の強化合宿に参加できる選手の選定 <div style="float: right; margin-top: 10px;">] PDCA 検証 </div>
シニア（形）	全空連会館	8月17～19日	(1) 立ち方 (2) 緩急 (3) 感情表現力 (4) フィジカル強化
ジュニア	全空連会館 全空連会館	6月28～30日 9月13～15日	※ジュニア強化はシニアと同様の強化を図り一貫した指導体制を構築する。

- ・上記日程の他に、組手（男・女）は、東日本及び西日本地区各拠点（大学）で定期的に合宿を行う。
- ・合宿毎に種目ごとのランク付けを行う。☞ 各合宿の結果を重視し公式戦出場の選考を行う。
- ・ランク付けを基に、次回以降の合宿参加への人数を絞る。
- ・メダル獲得有力候補選手を選抜し、海外遠征合宿を行う。
- ・体力測定を実施し、基礎体力の成果検証を行う。

※強化合宿を通じてチームの結束・連帯を強化する

2024年ナショナルチーム各種研修会開催予定について

選手・強化委員むけ研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）
- ・空手アナリストによる競技力向上研修会（合宿開催時）
- ・インテグリティ研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）

強化委員むけ研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）

※上記ほか、必要となった際に随時各種研修会を開催予定。

2024年ナショナルチーム編成数

カテゴリー	人 数
シニア・U21	60 以内
ジュニア・カデット	50 以内
合 計	110 以内

ナショナルチーム選手強化に係る全体評価表

評価20項目	基準点	一次評価 (5点評価方式)					総合点	コメント (成果が窺えた点・改善点等)	二次評価
		1	2	3	4	5			
心	精神力	10				5	50	250	
	礼儀	10				5	50		
	規律	10				5	50		
	強固な意志	10				5	50		
	自覚・責任	10				5	50		
技	気力	10				5	50	250	
	パワー	10				5	50		
	スピード	10				5	50		
	判断力	10				5	50		
	連続性	10				5	50		
体	基礎体力	10				5	50	250	
	瞬発力	10				5	50		
	筋力	10				5	50		
	持久力	10				5	50		
	回復力	10				5	50		
大会実績	シニア組手	10				5	50	250	
	シニア形	10				5	50		
	ジュニア組手	10				5	50		
	ジュニア形	10				5	50		
	総合	10				5	50		

最高点 1,000

総合評価	A	B	C	D	E
	800以上	700以上	600以上	500以上	500未満

公益財団法人全日本空手道連盟
選手強化委員会